



# 進路資料室だより

平成30年  
6月18日

早いもので梅雨の季節になりました。中間テストが終了し期末テストも間近です。日々の学習に励むとともに、自分の進路についてもしっかり考えましょう。

さて、「進路資料室だより」では、毎年6月号で進路資料室と進路学習室について紹介しています。受験生である3年生はもちろんですが、1年生、2年生も積極的に活用してください。

## 1 進路資料室とは

進路資料室は職員棟の1階にあります。進路に関わるさまざまな資料があります。大学や専門学校などから送られてくる入学案内や募集要項、「赤本」などの参考書、先輩方が残してくれた小論文や面接試験などの「受験の記録」などです。また大学や専門学校、企業などから1年間に500名ほどのお客様がお見えになります。いろいろな情報が集まりますので、まだ来たことがないという諸君は、自分の進路を考えるためにも、ぜひ利用して下さい。



閲覧用の机と赤本・過去問など



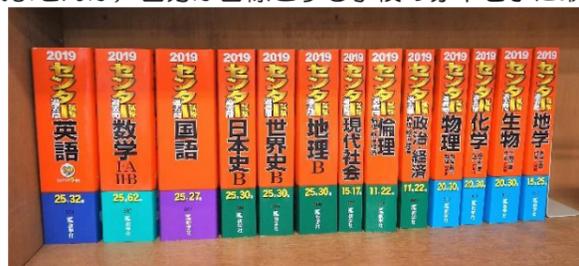
大学案内や募集要項の棚



「受験の記録」

## 2 進路資料室に今年の「赤本」が届きはじめました

進路資料室は別名「赤本部屋」とも呼ばれているようです。年度の半ばを過ぎると赤本を借りに来る生徒が激増します。赤本は教学社が発行している大学・学部別の大学入試過去問題集で、大学入試シリーズの通称です。昔から多くの受験生に利用されてきました。1年生や2年生にはあまり馴染みがないかも知れませんが、自分が目標とする学校の赤本を手にとってみましょう。



最新版(2019)のセンター試験過去問



大学の赤本

受験勉強では、受験する学校が過去にどのような問題を出していたのかを研究することがとても重要です。自分で購入するのが基本ですが、保護者の皆様からいただいている進路指導費を使い、主な

大学・学部とセンター試験の過去問などを購入しています。また受験が終了した先輩方が寄贈してくれたものもたくさんあります。最新版である「2019年版」が届きはじめました。見てみたい、借りたいと思う人は進路資料室に来てください。「一人2冊まで。3日以内に返却」がルールです。

## 3 進路学習室を利用しましょう

「進路学習室」(職員棟1階の西端、残留学習に利用している教室)は、平日18:20まで開放している自習室です。本校では、約10年分の赤本を保存していますが、今年度は「2009年版」と「2010年版」を学習室に配架しました。センター試験の赤本のうち、新しい3年分は進路資料室にありますが、古いものは進路学習室に置くことにしました。古い問題でも挑戦する価値はありますので、赤本の貸し出しを希望するものは備え付けてある「貸出簿」に必要事項を記入してから、利用してください。



本校で保存している最も古い赤本は、「2008年版」です。今年度中に廃棄する予定ですが、希望する生徒は持ち帰ってよいことにしています。持ち帰ったからには「しっかり勉強しましょう」。



「貸出用」の本棚



持ち帰ってよい赤本の棚



古いセンター試験の赤本

## 4 オープンキャンパスに参加しよう

各大学や専門学校で開催予定のオープンキャンパスのチラシがたくさん届いています。進路資料室の廊下側の壁にチラシを掲示しています。大学の講義内容や雰囲気を知るには、やはり行ってみるのが一番です。勉強する気持ちを高めるためにも、ぜひオープンキャンパスに参加しましょう。



「早いうちにオープンキャンパスに行っておけばよかった」との声をよく耳にします。3年生は何かと忙しくなります。1年生と2年生は必ず参加しましょう(できれば2校以上)。

ベネッセ「マナビジョン」、や河合塾「Kei-Net」、旺文社の「パスナビ」などで日時や内容などを調べることができます。学校によっては予約が必要な場合もあるので、詳しくは各大学のホームページなどを参照しましょう。

(参考) ベネッセ「マナビジョン」 <https://manabi.benesse.ne.jp/>  
河合塾「Kei-Net」 <http://www.keinet.ne.jp/>  
旺文社「パスナビ」 <https://passnavi.evidus.com/>